

研究課題名「心不全患者における低用量カルペリチドの利尿作用と腎保護効果」に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年10月1日～2020年10月1日の期間で、名古屋大学医学部附属病院において外科系集中治療室（SICU）もしくは救急・内科系治療室（EMICU）に入室され、カルペリチド（商品名：ハンプ）を投与された心不全患者が対象となります。

2. 研究目的・方法・研究期間

カルペリチドはヒト心房性ナトリウム利尿ペプチドという成分でできており、ナトリウム排泄を伴う利尿作用が得られることが動物実験では分かっています。しかし、薬としては心不全を改善する目的で用いられるため、カルペリチドを人に投与したときの心不全に対する効果については研究が多い一方で、利尿作用や腎保護効果に関しては報告が乏しい状況です。さらにこれまでの研究において通常用量では低血圧をきたしやすいことが分かっており、低用量では血清クレアチニン値の上昇を抑制する可能性が指摘されています。そこで集中治療室で低用量カルペリチドを既に使用されている患者の尿量やクレアチニンについて後ろ向きに調査することで、人に投与した場合でも利尿作用や腎保護効果が得られていたかを検証致します。

方法としては電子カルテを用いて、過去に低用量カルペリチドが投与された患者の投与前後3～6時間以内での尿量変化、尿量に影響を与える因子である血圧変化、腎機能の指標となるクレアチニンについて調査します。研究期間としては2023年10月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

低用量カルペリチドが投与された前後での尿量、投与量、血圧、クレアチニン、体重、年齢、昇圧剤や利尿剤の併用有無などについて過去の記録を調査します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

研究担当者 坂 啓子

住所 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-741-2680

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者名：山田 清文

住所 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-741-2680